

2019年3月期 第3四半期決算 電話説明会 質疑応答

実施日：2019年1月30日（水） 当社説明者：執行役員 経理・IR担当 霜田 朝之 IRグループマネージャー 浅井 一（司会）
--

以下は、決算電話説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

- Q1) 第3四半期の入園者数は上半期以上に好調のようだが、何か特別な要因があったのか。
- A1) 東京ディズニーリゾート35周年イベントや、新規コンテンツを含むハロウィーンやクリスマスのスペシャルイベントがご好評いただけたと考えている。加えて、今年度は天候にも恵まれたことから、第3四半期累計(4月-12月期)での入園者数においても過去最高となった。
- Q2) 2019年度も新規アトラクションや新規スペシャルイベントが導入されるが、混雑感に対する取り組みで検討しているものはあるか。
- A2) 今年の夏にはポータルアプリ上で利用できるデジタルファストパスの導入を検討している。また、ゲストの利便性を向上させる取り組みとしては、5月にパークの一部でWi-Fiが利用できる環境を整備する予定である。
- Q3) ホテル事業に価格変動制を導入したが、客室単価の向上に寄与しているのか。
- A3) ディズニーホテルにおいては今年度も非常に高い稼働率で推移しており、価格変動制を導入したことで需要に見合った適切な客室料金が設定できているものと考えている。
- Q4) 株主還元について、具体的に検討していることはあるか。
- A4) 現時点で具体的に決定していることはないが、経営における重要な課題の一つとして認識していることには変わりはなく、今後とも株主還元を充実させていきたいと考えている。
- Q5) 今年度の業績が好調に推移しているが、2020中期経営計画の目標を修正する可能性はあるか。
- A5) 現時点で目標を修正することは考えていない。引き続き、高い満足度を伴ったパーク体験を提供できていることと、2020年度に過去最高の入園者数及び営業キャッシュフローの達成を目指していく。

以上